

JET INOUE

592785 チームスマートレコーダー用 オプションカメラ
YK-CVC100 TSR YM-201/T2/T3/TAT2/T5専用
赤外線室内カメラ

取扱説明書 / 保証書

この度はジェットイノウエ製品をお買い上げいただき
まことにありがとうございます。
ご使用前に、取り扱い説明書をよくお読みのうえ正しく
お使いください。
保証書はお買い上げの販売店で記入いたしますので、
記入漏れがないかご確認のうえ大切に保管してください。

ご使用前に、「警告及び注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
注意事項には危害や損害の大きさを明確にするために誤った取扱いをすると生じる、
または想定される内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。

使用可能
対象製品

TSRシリーズ
T2/T3/TAT2/T5/YM-201

製品内容



YK-CVC100 本体
(両面テープ付)



延長ケーブル
(ミニジャック)



延長ケーブル
(RCAピン)

株式会社 **ジェットイノウエ**

<http://www.jet-inoue.co.jp/>

〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-14-18
TEL.03-3602-1121 FAX.03(3604)6218

●本製品のお問い合わせはカスタマー窓口まで
TEL.0120-596-332
受付時間：9:00～16:30 月～金(祝祭日除く)

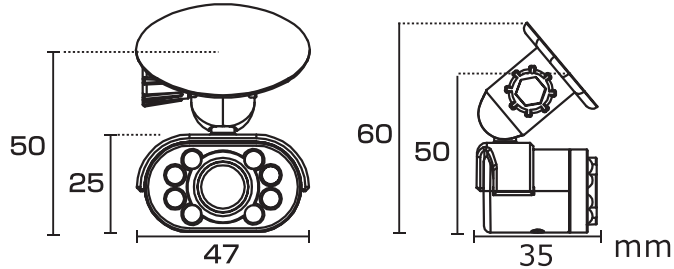


警告

警告を無視した取扱いをすると、
使用者が死亡や重症を負う原因となります。

- 本製品はスマートレコーダーシリーズ専用のカメラとなります。
それ以外の製品への取付はできません。事故・火災の原因になります。
- 分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。
- アース接続には、ハンドル・ブレーキ、燃料タンクなどのボルトや
ナットを使わないでください。
- 配線作業の前には必ずバッテリーのマイナス端子から配線を外して、
配線作業をしてください。感電、ケガの原因になります。
- カメラの取付や取付状態を点検する際は、車両を平坦で安全な所に
停めてから必ずエンジンをきり、サイドブレーキを確実にひいた状態で
作業を行ってください。ハンドル、変速レバー、ブレーキペダルなどに
配線等が巻きつくと事故や車両故障の原因になります。
- 走行前にカメラユニットの貼り付け状態、ネジの緩みがないか点検して
下さい。
- コードの被覆を切って、他の機器の電源をとらないでください。火災や
感電の原因になります。
- 前方の視界を妨げる場所やハンドル、変速レバーなど運転操作を妨げ
る場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取付けしないでください。
事故、ケガの原因になります。
- ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等を使用して目に切り粉
や破片が入らないように保護をしてください。ケガの原因になります。
- 車両後退時の後方、周辺確認は必ず運転者の目視で行ってください。
バックカメラは車両周辺確認のための補助装置です。画面に映し出され
る映像は車両周辺状況の一部です。カメラは広角レンズを使用しており
通常の視界と映し出される映像では距離感が違います。また、バックカ
メラの映像は鏡像映像です。モニター上にはルームミラーと同様の映像
が映ります。
- ヒューズ交換は、規定容量 (アンペア数) を守って下さい。
事故・火災の原因になります。
- 映像が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときは、
直ちに使用を中止しお買い上げ店に相談してください。事故・火災・
感電の原因になります。
- 走行中に画面を見ていると前方不注意となり事故の原因になりますので
ご注意ください。
- ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。
飲み込んだ場合には直ちに医師と相談してください。
- 車体に穴をあける場合にはパイプ、タンク、電気配線などを傷つけない
でください。事故・火災の原因になります

本体サイズ



製品仕様

イメージセンサー	1/3 PC1099
画角	水平 92° / 垂直 65°
解像度	960(H)×480(V)
フレームレート	NTSC(60FPS)/PAL(50FPS)
最低照度	0ルクス(赤外線カメラON)
入力電圧	DC 5V～12V
消費電流	130mA/350mA
映像出力	CVBS
動作温度	－20℃～70℃
保管温度	－30℃～85℃
動作湿度範囲	30～95%
IRLED	850nm,6EA
ケーブル長	本体側 0.6m/ 延長 6m
正像 / 鏡像	正像 / 鏡像 (切換線付)
接続端子	RCA またはミニジャック



注意

注意を無視した取扱いをすると、
使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

- 説明書に従って正しく取付してください。火災・事故の原因になります。
- 配線をシートレールにはさんだり突起部に当てたりしないでください。
断線やショートにより、感電・火災の原因になります。
- カメラは分解しないでください。防水性能が低下します。
- 本製品取付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に
依頼してください。また、取付け場所を移す場合や取付け車両を変更
する場合もお買い上げ店に依頼してください。
- カメラ本体は、車幅、車の前後からはみ出ない場所に取付けてくださ
い。歩行者などに接触して、事故・ケガの原因となります。
- コード類の配線は高温部、可動部を避けて行い、しっかり固定してくだ
さい。高温部に接触してコードの被覆がとけたり、可動部品による咬み
込みによりショートや断線が起こり火災、感電の原因になります。
- バッテリーの取外し、取付けする際、バッテリー固定金具やバッテリー
端子取付け用ナットは工具を使ってしっかりと締め付けて固定してください。
不適切な取付けを行うと車両火災の原因になります。
- カメラ本体以外は水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取付
けしないでください。火災・事故の原因になります。
- 付属部品を指定通りに使い、しっかりと取付けてください。
事故・故障の原因になります。
- 本製品を車以外に使用しないでください。火災・感電の原因になります。
- 配線の取り回しは地デジアンテナ、GPS アンテナなどと離してください。
本製品または他の取付機器に影響する恐れがあります。

取付ける前に必ずお読みください

◎次の事に注意しながら取付作業を進めてください。

- 本製品の取付には、専門技術と経験が必要です。必ずお買い上げ店または
取付が出来る専門店にて取付を行ってください。専門技術・知識の無い場合
は自身での取付作業は行わないでください。
- 不明な点はお買い上げ店または弊社サービスセンターにお問い合わせください。
- 取付位置のスペース、ケーブルの長さ (取回しなど) を確認してから作業を
行って下さい。取付位置によりケーブルが足りなくなる場合があります。
- 湿気の多いときは取付け面を充分に乾燥させてください。取付け面に水気があると
仮止め等の両面テープ (市販品) の接着力が低下してはがれる恐れがあります。
- 取付けてから以下のことは行わないでください。
 - ・カメラ部に無理な力をかける行為
 - ・取付位置を動かす行為

法規の改正

2009 年 1 月 1 日以降に製作された乗車定員 1 0 人未満の乗用車に車載カメラ
等の外装品を取付ける際、国土交通省公布の「外装の技術基準 (※)」に
準拠した取付けが必要となります。取付位置に一部制限が発生する場合が
ありますのでご注意ください。
「外装の技術基準 (※)」〔抜粋〕
自動車の外部には、衝突時又は接触時に歩行者等に傷害を与えるおそれの
ある形状、寸法、方向または硬さを有するいかなる突起を有してはならない。

適応外となる部位
・高さ 2 m 以上の部分
・フロアラインより下の部分
・直径 1 0 0 mm の球体が接触しない部分
・曲率半径が 2.5 mm 以上となっている部分
・突出量が 5 mm 未満で突起の外向き端部に丸みが付いている部分
・突出量が 1.5 mm 未満の部分
・突起の硬さが 6 0 ショア (A) 相当以下となっている部分

対象車種
・2009 年 1 月 1 日以降に製作・登録された乗用車。
(乗車定員 1 0 人未満の、専ら乗用の用に供する自動車)
尚、2008 年 12 月 31 日までに製作登録された車両につきましては対象外と
なりますが、新基準に準拠した取付けをおすすめします。

法規の詳細は国土交通省のホームページにてご確認ください。
・国土交通省ホームページ
<http://www.mlit.go.jp/index.html>
・保安基準等関係基準の各条文検索一覧表【保安基準 (自動車)】
http://www.mlit.go.jp/jidosha/kijyun/kokujitou_index.pdf
・第 1 8 条細目告示別添 2 0 外装の技術基準
http://www.mlit.go.jp/jidosha/kijyun/saimokubetten/saibet_020_00.pdf

本製品について

- 本製品の近くでは携帯電話や無線機を使わないでください。画面ノイズや誤作
動の原因になる場合があります。携帯電話や無線機は本製品から離れてご使用
になることをお勧めします。
- 本製品は国内のみでお使いいただけます。海外ではご使用できません。
- レンズに水滴や汚れが付着した場合、柔らかい布で拭いてください。
カメラのレンズ部分、取付け金具、コード類は変形や劣化を防ぐため
薬品や磨き粉等を使用しないでください。
- 定期的に取付状態 (ネジのゆるみ、取付金具の経年劣化等) を点検してください。
- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書のイラストと実際の製品では一部形状が異なる場合があります。

取付・接続方法

取付手順

- ①フロントガラスやリアガラス等カメラを取り付けたい場所をタオル等でホコリ・油分をきれいに拭き取ります。
- ②台座部分の両面テープをはがしてしっかりと貼り付けます。
- ③台座のネジを緩めた状態でカメラ本体を撮りたい向きに調節してください。
- ④向きの調節が終わったら台座のネジを締めて向きを固定してください。
- ⑤ドライブレコーダー本体にカメラの端子を接続します。
- ⑥余った配線をヘッドライニングの隙間やダッシュボード、Aピラー内部等にしまします。
- ⑦この製品は正像 / 鏡像の切り替えができます。録画される用途に応じて使用してください。※参照

取付時の注意事項

- ・カメラ本体をケーブルでぶら下げたり、ケーブルを引っ張ったりすることは絶対にしないでください。
- ・運転の視界の妨げになる場所、運転操作の妨げになる場所への取付は絶対にしないでください。
- ・取付け後はドライブレコーダーを起動して録画がきちんとされているか必ず確認してください。
- ・余った配線は必ずしまうようにしてください。思わぬ運転操作の妨げやケガ等の原因となる恐れがあります。
- ・カメラの上下を必ず確認してください。逆さの場合は台座からはずして上下を入れ替えてください。

配線取り回し例(前方)



隙間部分に入れる



ヘッドライニング

Aピラー部分(2,3か所ピンで固定されているので引っ張るとはずれます)

接続イメージ例



YK-CVC100



ミニジャック



TSR-T2/T3/TAT2/T5
(写真はTSR-TAT2)



RCAピン



YM-201

※結線時の注意事項

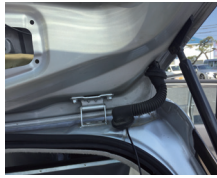
YM201 レコーダーに結線する場合は入力側 RCA ピンから出ている電源 (12V) を結線してください。

結線することにより CVC100 側の電源コントロールを行います。

配線取り回し例(後方)



- ・カバーの取外し
カバーを固定しているパーツははずします。プラスドライバー等で押すとはずれます。



- ・配線を車内に引き込む
ゴムを引っ張ると外れるのでその中を通します。ゴムの中を通さないと浸水する恐れがあります。
また、取付け後にゴムがしっかりはまっていることを確認ください。



- ・配線を前方へもっていく
ピラーの隙間から前方へ配線をもっていきます。
前方へ配線をもっていったら、ドライブレコーダー本体の穴へジャックを差し込みます。

※正像 / 鏡像の切り替え方法



正像 / 鏡像切替線

カメラを鏡像にして使用する場合は、カメラ用延長ケーブルに付いている白い線を切断すると鏡像に切り替わります。

出荷時の設定は正像です。